

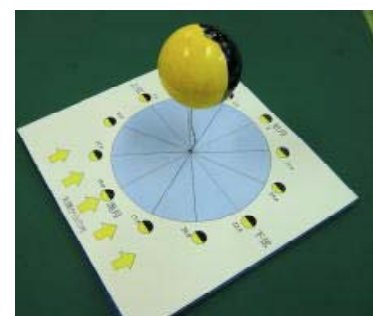
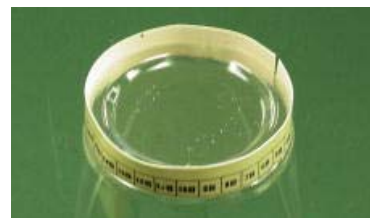
第6学年「月と太陽」 立体月齢早見「お月見プラコップ」

〔準備物〕

- ・透明プラスチックコップ 3個・・・できるだけ透明なものがよい
- ・台紙、年、月、日めもり、月を見る方向シール 1セット
- ・発泡スチロール球（直径35mm） 1個
- ・クリップ 1個
- ・両面テープ、セロハンテープ、ポスターカラーなど（黄、黒）

〔作製方法〕

- ① 発泡スチロール球を、黄と黒に塗る。
- ② 年、月、日めもりの表面にセロハンテープを貼り、補強する。
- ③ 3つのプラコップを伏せた状態で、年、月、日めもりを、両面テープで貼る。年めもりを貼ったコップを「年コップ」とよぶ。月、日めもりも同じ。
- ④ クリップで支柱を作り台紙に①でつくった月の模型を固定する。月の模型の黄色の面が、台紙の「太陽からの光」の向きに合うようにする。
- ⑤ 「年コップ」を台紙に速乾性のボンドで固定する。向きは特に考える必要なし。
- ⑥ 「月コップ」「日コップ」を順にかぶせる。



〔調整方法〕

2010年8月24日が満月なので、このことをもとに調整する。

- ① 「月コップ」と「日コップ」を回し、2010年、8月、24日のめもりを合わせる。
- ② 台紙の満月と書いてあるところから、中の月模型を見ると「満月」となっている。その方向の「日コップ」に外側から、「月を見る方向」シールをはる。
- ③ 調べたい年月日で月の形を見るときは、必ずこの「月を見る方向」シールから、中の月を見ると月の形が分かる。



〔使い方〕 月の形を調べる方法

- ① 調べたい年月日に、3つのコップのめもりを合わせる。
- ② 「月を見る方向」のシールから中の月の模型をのぞくと、その形が実際の空の月の形とほぼ合っている。誤差は1日程度である。うるう年の3月以降は、調べたい日に1日加えてめもりを合わせる。
- ③ 年めもりに書かれていない、未来や過去の月齢を調べたいときは、調べたい年に19の倍数を足したり引いたりして、円盤に書いてある年で合わせる。月の満ち欠けの周期は19年で、19年ごとに、ほぼ元にもどる。たとえば、2020年の月は、2001年で見たとときの満ち欠けとほとんど同じになる。

立体月齢早見盤

お月見プラコップ

岡山県立笠岡商業高等学校
難波二郎先生のHPを参考にしました。

																												31日	30日
29日	28日	27日	26日	25日	24日	23日	22日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	

日めもり

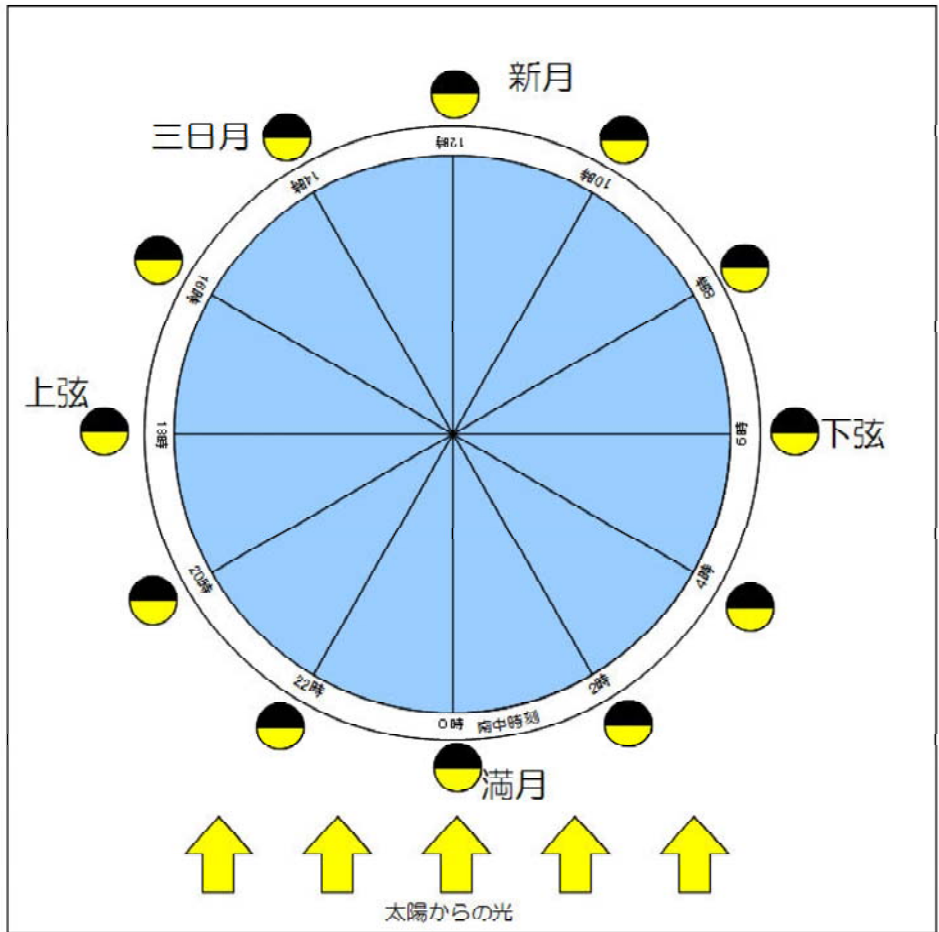
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

月めもり

2010	2021	2013	2024	2016	2027	2019	2011	2022	2014	2025	2017	2028	2020	2012	2023	2015	2026	2018
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

年めもり

月を見る方向シール



台紙

- 用いるプラスチックカップに合わせて、大きさを変える必要があります。
- デジタルデータ (JustSystem「花子」あるいはPDF) が必要な場合は、下記にメールを送りください。

メール送信先 : chigaku@esnet.ed.jp
総合教育センター教科教育室 (担当 : 勝田 毅)